



CHAPTER 1

ルータの概要

Cisco 1900 シリーズ Integrated Services Router (ISR) は LAN および WAN 接続を提供するモジュール型ルータであり、交換可能なインターフェイス カードおよび Internal Service Module (ISM) を使用して設定できます。現在このシリーズには、1905、1921、1941 モデルおよび 1941W (ワイヤレス) モデルがあります。1941W は、Wi-Fi CERTIFIED™ 認定を受けており、802.11a/b/g/n に準拠しています。モジュール設計のルータであることによって得られる柔軟性により、ニーズに応じたルータの構成が可能です。

この ISR シリーズは、次世代の Enhanced High-Speed WAN Interface Card (EHWIC; 拡張高速 WAN インターフェイス カード)、Internal Service Module (ISM、1941 のみ)、および 2 枚の CompactFlash カードをサポートする新しいスロットを備えています (1941 のみ)。Universal Serial Bus (USB; ユニバーサル シリアル バス) デバイスには USB ポートを使用できます。また、RJ-45 コンソール コネクタに加えて、USB ミニ タイプ B シリアル コンソール ポートも使用できます。

この章では、Cisco 1900 シリーズ ルータの概要について説明します。具体的な内容は、次のとおりです。

- 「安全上の警告」(P.1-1)
- 「シャーシの外観」(P.1-2)
- 「ハードウェアの機能」(P.1-6)
- 「インターフェイス番号」(P.1-13)
- 「仕様」(P.1-14)
- 「適合規格」(P.1-18)

安全上の警告



警告

安全上の重要事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。警告の各国語版については、各警告文の末尾に提示されている番号をもとに、この機器に付属している各国語で記述された安全上の警告を参照してください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保存しておいてください。



警告

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。ステートメント 1040



警告

スイッチ内部にはユーザが保守できる部品はありません。筐体を開けないでください。ステートメント 1073



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030

フィンランド、ノルウェイおよびスウェーデン向けの安全上の警告

警告文 1017 は、フィンランド、ノルウェイおよびスウェーデンの各国に適用されます。



警告

この装置は、立ち入りが制限された場所への設置が想定されています。立ち入りが制限された場所とは、特殊なツール、ロックおよびキー、または他のセキュリティ手段を使用しないと入室できない場所を意味します。ステートメント 1017

シャーシの外観

ここでは、Cisco 1900 シリーズ ルータの前面パネルおよび背面パネルの図を使用して、電源インターフェイス、信号インターフェイス、インターフェイスカード スロット、およびステータス インジケータの場所を示します。

図 1-1 は、Cisco 1905 および Cisco 1921 ルータの前面パネルを示しています。図 1-2 は、Cisco 1905 および Cisco 1921 ルータの背面パネル コネクタを示しています。図 1-3 は Cisco 1941 ワイヤレス ルータの前面パネル、図 1-4 は Cisco 1941 ルータの LED を示しています。図 1-5 は、Cisco 1941 ルータの背面パネル コネクタを示しています。

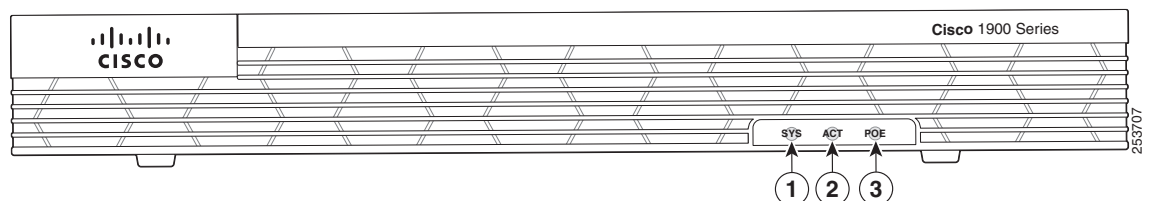


注意

Cisco 1905 および Cisco 1921 ISR に EHWIC を取り付ける前に、ルータおよび Power over Ethernet (PoE) の電源をオフにします。

図 1-1 は、Cisco 1905 および Cisco 1921 ルータの前面パネルおよび LED の名前を示しています。

図 1-1 Cisco 1905 および Cisco 1921 ルータの前面パネル



1	SYS	2	ACT
3	PoE ¹²		

1. Power over Ethernet (POE) は、オプションの外部 PoE 電源と併用できます。
2. Cisco 1905 および Cisco 1921 ISR に EHWIC を取り付ける前に、PoE の電源をオフにします。

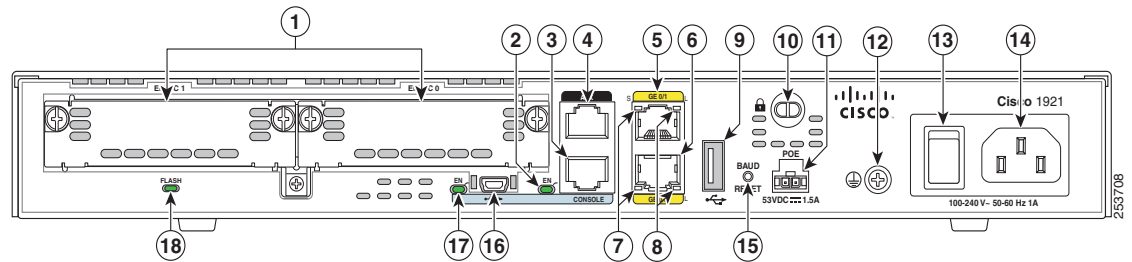


注意

Cisco 1905 および Cisco 1921 ISR に EHWIC を取り付ける前に、PoE の電源をオフにします。

図 1-2 は、Cisco 1905 および Cisco 1921 ルータの背面パネルにあるポートおよび LED を示しています。

図 1-2 Cisco 1905 および Cisco 1921 ルータの背面パネル (図は 1921)



1	EHWIC (HWIC、WIC、または VWIC ¹) スロット 0 および 1: スロット 0 (右)、スロット 1 (左)、またはダブル幅 ²³⁴⁵	2	EN (Enable RJ-45 コンソール)
3	RJ-45 シリアル コンソール ポート	4	AUX ポート
5	Gigabit Ethernet (GE; ギガビット イーサネット) 0/1	6	GE 0/0
7	S (スピード)	8	L (リンク)
9	USB ポート: USB 2.0 タイプ A ポート	10	Kensington™ セキュリティ スロット
11	PoE ⁶	12	アース コネクタ
13	オン/オフ スイッチ	14	入力電源接続
15	リセット	16	USB シリアル ポート: USB 5 ピン ミニ USB タイプ B
17	EN (Enable USB コンソール)	18	Flash

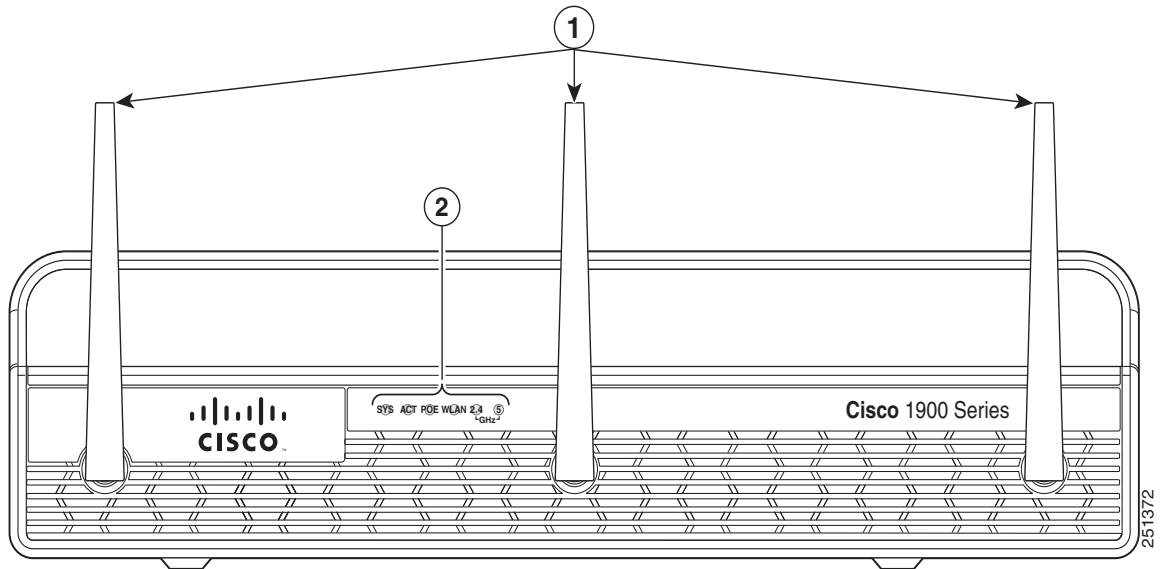
1. Voice/WAN Interface Card (VWIC; 音声/WAN インターフェイス カード) は、データだけをサポートします。
2. ダブル幅のスロットは、1921 だけにあります。
3. 1905 のスロット 0 (右) には、取り外せないインターフェイス カードが取り付けられた状態で出荷されます。スロット 1 (左) のみを使用できます。
4. 1905 および 1921 に取り付けられる EHWIC ギガビット イーサネット スイッチは 1 つだけです。
5. サポート対象のモジュールについては、『[Module Support on Cisco's Integrated Services Routers Generation 2](http://cisco.com/en/US/prod/collateral/routers/ps10538/aag_c07_563807.pdf)』 (http://cisco.com/en/US/prod/collateral/routers/ps10538/aag_c07_563807.pdf) を参照してください。
6. Cisco 1905 および Cisco 1921 ISR に EHWIC を取り付ける前に、PoE の電源をオフにします。

図 1-3 は、アンテナが取り付けられた Cisco 1941 ワイヤレス ルータの前面パネルを示しています。



(注) 1905 のスロット 0 (右) には、取り外せない EHWIC が取り付けられた状態で出荷されます。

図 1-3 Cisco 1941W ルータの前面パネル

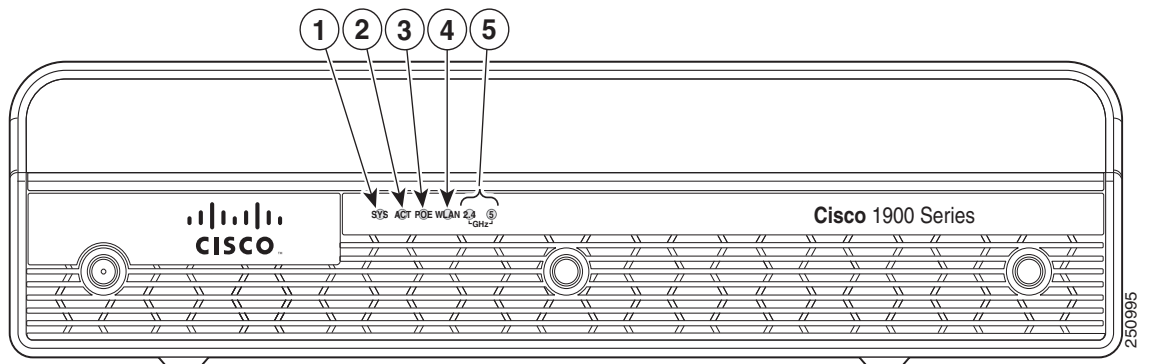


1	アンテナ マウント ¹	2	LED ²
---	------------------------	---	------------------

1. アンテナ マウントは、非ワイヤレス モデルでは使用できません。
2. 一部の LED は、非ワイヤレス モデルでは使用できません。

図 1-4 は、Cisco 1941W (アンテナなし) の前面パネルおよび LED の名前を示しています。

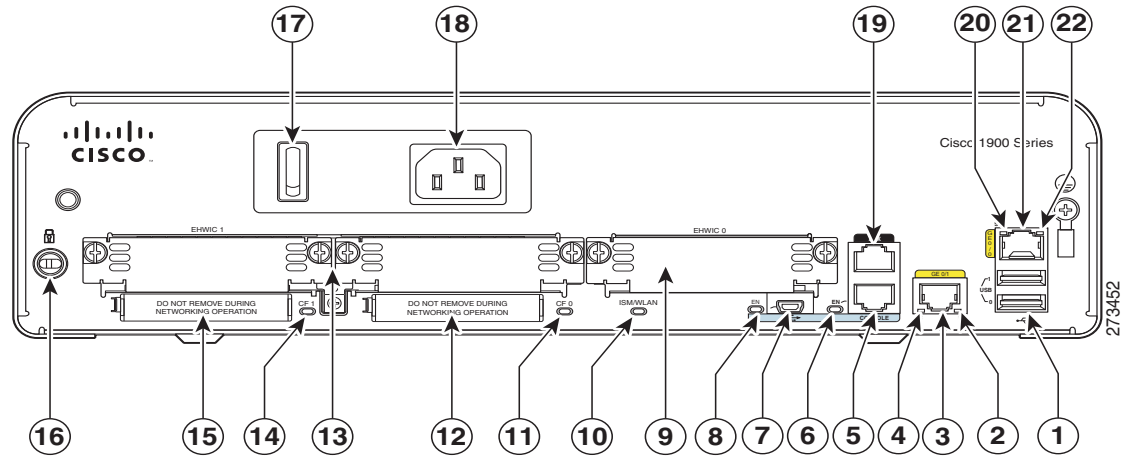
図 1-4 Cisco 1941 および Cisco 1941W ルータの LED



1	SYS	2	ACT
3	PoE	4	WLAN
5	2.4 または 5 GHz		

図 1-5 は、Cisco 1941 および Cisco 1941W ルータの背面パネルにあるポートおよび LED を示しています。

図 1-5 Cisco 1941 および Cisco 1941W ルータの背面パネル



1	USB ポート: USB 2.0 タイプ A ポート × 2 (USB 0 は下)	2	L (リンク)
3	Gigabit Ethernet (GE; ギガビット イーサネット) 0/1	4	S (スピード)
5	RJ-45 シリアル コンソール ポート	6	EN (Enable RJ-45 コンソール)
7	USB シリアル ポート: USB 5 ピン ミニ USB タイプ B	8	EN (Enable USB コンソール)
9	High-Speed WAN Interface Card (HWIC; 高速 WAN インターフェイス カード) スロット 0 (EHWIC、HWIC、WAN Interface Card (WIC; WAN インターフェイス カード)、または VWIC ¹): シングル幅 ²	10	ISM ³ または WLAN
11	CF 0	12	CompactFlash 0
13	HWIC スロット 1 (EHWIC、HWIC、または WIC): ダブル幅 ⁴	14	CF 1
15	CompactFlash 1	16	Kensington™ セキュリティ スロット
17	オン/オフ スイッチ	18	入力電源接続
19	AUX ポート	20	S (スピード)
21	GE 0/0	22	L (リンク)

1. Voice/WAN Interface Card (VWIC; 音声/WAN インターフェイス カード) は、データだけをサポートします。
2. サポート対象のモジュールについては、『[Module Support on Cisco's Integrated Services Routers Generation 2](http://cisco.com/en/US/prod/collateral/routers/ps10538/aag_c07_563807.pdf)』 (http://cisco.com/en/US/prod/collateral/routers/ps10538/aag_c07_563807.pdf) を参照してください。
3. Internal Service Module (ISM)。
4. ダブル幅のスロットは、シングル幅の EHWIC、HWIC、WIC、または VWIC (データ専用) をスロットの左側に収容できます。

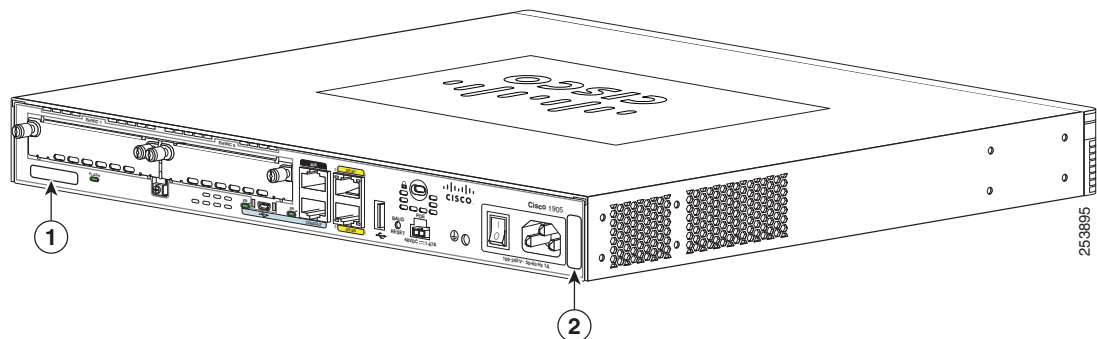
ハードウェアの機能

- 「製品シリアル番号の場所」 (P.1-6)
- 「組み込みインターフェイス」 (P.1-8)
- 「着脱式で交換可能なオプション モジュール」 (P.1-8)
- 「メモリ」 (P.1-9)
- 「LED インジケータ」 (P.1-10)
- 「シャーシの換気」 (P.1-12)
- 「リアルタイム クロック」 (P.1-12)
- 「シャーシのセキュリティ」 (P.1-13)
- 「ワイヤレス LAN 接続」 (P.1-13)
- 「ポー リセット ボタン」 (P.1-13)

製品シリアル番号の場所

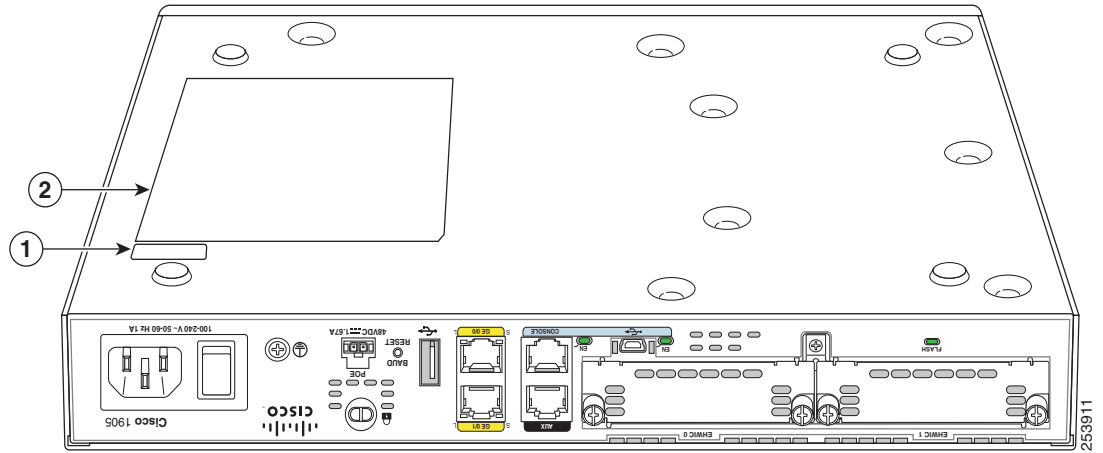
Cisco 1905 および Cisco 1921 ルータのシリアル番号ラベルおよび Common Language Equipment Identifier (CLEI) ラベルは、シャーシの背面にあります (図 1-6 を参照)。Cisco 1905 および Cisco 1921 ルータの Product ID (PID; 製品 ID) ラベルはシャーシの底面にあります (図 1-8 を参照)。Cisco 1940 シリーズ ルータのシリアル番号ラベルは、シャーシ背面の引き出しタブにあります (図 1-8 を参照)。

図 1-6 Cisco 1905 および Cisco 1921 ルータのシリアル番号および CLEI の位置



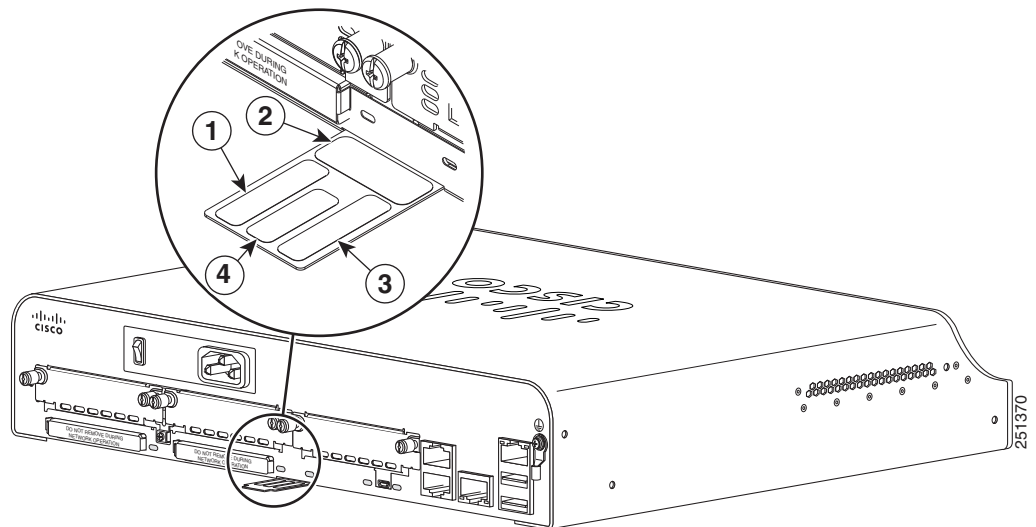
1	Common Language Equipment Identifier (CLEI)	2	シリアル番号 (SN)
----------	---	----------	-------------

図 1-7 Cisco 1905 および Cisco 1921 ルータの PID および準拠ラベルの位置



1 製品 ID (PID)	2 準拠ラベル
----------------------	----------------

図 1-8 Cisco 1940 シリーズ ルータのシリアル番号、PID/VID、および CLEI 番号の位置



1 製品 ID (PID)	2 シリアル番号 (SN)
3 製品 ID/バージョン ID (PID/VID)	4 Common Language Equipment Identifier (CLEI)



(注) Cisco 1900 シリーズ ルータのシリアル番号は、11 文字です。

Cisco Product Identification (CPI) ツール

Cisco Product Identification (CPI) ツールは、シスコ製品のシリアル番号ラベルの位置を示す詳細な図と説明を提供します。このツールには次の機能があります。

- ツリー構造の製品階層を用いてモデルを閲覧できる検索オプション
- 複数の製品をより簡単に検索することのできる最終結果ページの検索フィールド
- 販売終了製品は、結果リストで明瞭に識別

このツールを使用すると、シリアル番号ラベルを見つけ、製品を特定するプロセスが簡単になります。シリアル番号情報があると認定プロセスが迅速になります。また、サポート サービスにアクセスする際に重要です。

Cisco Product Identification ツールには次の URL でアクセスできます。

<http://tools.cisco.com/Support/CPI/index.do>

組み込みインターフェイス

次の表に、Cisco 1900 シリーズ ルータで使用可能なインターフェイスを示します。



(注)

RJ-45 コンソール ポートまたは USB コンソール ポートのいずれかを使用できます。両方のポートを同時に使用することはできません。

表 1-1 Cisco 1900 シリーズ ルータで使用可能なインターフェイス

インターフェイス	説明
Gigabit Ethernet (GE; ギガビットイーサネット)	GE ポート X 2 (RJ-45 コネクタ)。
RJ-45 コンソール	コンソール ポート X 1 (RJ-45 コネクタ)。
AUX	AUX ポート X 1 (RJ-45 コネクタ)。
USB コンソール	Cisco 1900 ISR は、RJ-45 コンソール ポートに加えて、USB 5 ピン ミニ タイプ B ポートを備えています。このポートに初めて接続するときには、USB ドライバをインストールする必要があります。ドライバのインストールを促すプロンプトが表示されます。インストール プロンプトに従うだけで、ドライバをインストールできます。
USB	USB 2.0 タイプ A 対応ポート X 2 (1940 シリーズ)。USB 2.0 タイプ A 対応ポート X 1 (1905 および 1921)。これらのポートは、USB1.1 デバイスと下位互換性があります。USB ポートは、セキュリティ トークン、フラッシュ メモリなどの USB デバイスに接続を提供します。

着脱式で交換可能なオプション モジュール

一部のモジュールは、シャーシのスロットに挿入することによって、またはシャーシを開いて内部のコネクタに差し込むことによって取り付けることができます。WLAN が工場に取り付けられています。

- CompactFlash メモリおよび拡張高速 WAN インターフェイス カード (EHWIC) は、Cisco 1940 シリーズのシャーシのスロットに収まります。また、シャーシを開かずに、取り付けまたは取り外しを実行できます。

- Cisco 1940 シリーズ シャーシ内部のコネクタは、現場で取り付け可能なオプションの Internal Service Module (ISM) を収容します。『*Installing and Upgrading Internal Modules and FRUs in Cisco 1900 Series ISRs*』を参照してください。
- Cisco 1941W シャーシ内部の ISM コネクタには、工場で行われたオプションのワイヤレス LAN カードが収容されます。ISM コネクタに、WLAN カードが取り外せないように取り付けられます。
- Cisco 1940 シリーズ ISR の特長である内部電源装置のアップグレード (オプション) を行うと、オプションの統合型スイッチ モジュールに対してインライン電源 (802.3af 対応 Power-over-Ethernet (PoE) およびシスコ標準のインライン電源) が供給されます。Cisco 1905 および Cisco 1921 には PoE 用の外部供給口があります。(図 1-2 を参照)。
- Cisco 1905 または Cisco 1921 ルータには、ユーザが取り付けおよび交換できるモジュールはありません。シャーシ カバーを取り外さないでください。



注意

Cisco 1905 および Cisco 1921 ISR に EHWIC を取り付ける前に、PoE の電源をオフにします。

表 1-2 に、オプション モジュールの概要を示します。

表 1-2 Cisco 1940 シリーズの着脱式で交換可能なモジュールの概要

外部モジュール (シャーシ スロット内)		内部モジュール
CompactFlash ¹	拡張高速 WAN インターフェイス カード (EHWIC) ²	Internal Service Module (ISM) ³
2	2	1

1. シスコから購入した高性能 CompactFlash (CF) だけが、Cisco 1900 シリーズ ISR で動作します。これらのルータではレガシー CF は機能しません。レガシー CF を挿入すると、次のエラー メッセージが表示されます。

```
WARNING: Unsupported compact flash detected. Use of this card during normal operation can impact and severely degrade performance of the system. Please use supported compact flash cards only.
```

2. HWIC、WIC、および VWIC (データ専用) がサポートされています。
3. 非ワイヤレス モデルだけです。

メモリ

Cisco 1900 シリーズ ルータには、次のタイプのメモリが搭載されています。

- DRAM : 実行コンフィギュレーションおよびルーティング テーブルを保存します。ネットワーク インターフェイスによるパケット バッファリングに使用されます。Cisco IOS ソフトウェアは DRAM メモリから実行されます。
- Boot/Nonvolatile Random-Access Memory (NVRAM; 不揮発性 RAM) : 内蔵フラッシュ メモリ。ブートストラップ プログラム (ROM モニタ)、コンフィギュレーション レジスタ、およびスタートアップ コンフィギュレーションを保存します。
- フラッシュ メモリ : 外部フラッシュ メモリ (1940 シリーズのみ)。オペレーティング システム ソフトウェアのイメージを保存します。

表 1-3 に、Cisco 1900 シリーズ ルータのメモリ オプションの概要を示します。RAM のデフォルトのメモリ数は、最小使用可能メモリを表します。Cisco 1940 シリーズ ISR の最大搭載可能メモリまで、追加のメモリをデフォルトの倍数単位で取り付けることができます。Cisco 1905 および Cisco 1921 のメモリは工場に取り付けられていて固定されており、拡張スロットはありません。

表 1-3 ルータのメモリ仕様

DRAM	1940 シリーズ	1905	1921
DRAM	タイプ : Unregistered DIMM (UDIMM) DIMM サイズ : 512 MB、1 GB、2 GB DIMM 拡張スロット : 1 デフォルトのオンボードメモリ : 512 MB 非 ECC 最大メモリ : 2.5 GB Boot または NVRAM : 内蔵 16 MB フラッシュメモリ。	タイプ : DDR2 DIMM 拡張スロット : 0 デフォルトのオンボードメモリ : 256 ¹ MB 非 ECC 最大メモリ : 512 MB ² Boot または NVRAM : 内蔵 16 MB フラッシュメモリ。	タイプ : DDR2 DIMM 拡張スロット : 0 デフォルトのオンボードメモリ : 512 MB 非 ECC 最大メモリ : 512 MB Boot または NVRAM : 内蔵 16 MB フラッシュメモリ。

- 256 MB は、ネットブートおよびウォームアップグレード機能をサポートしません。ネットブートおよびウォームアップグレードには 512 MB のメモリが必要です。
- 512 MB のアクティベーションにはメモリライセンス機能が必要です。詳細については、『[Cisco IOS Software Activation Configuration Guide](#)』を参照してください。

LED インジケータ

表 1-4 に、ルータのベゼルまたはシャーシにある LED インジケータの概要を示します。ただし、インターフェイスカードにある LED は含まれません。すべてのモデルにすべての LED が搭載されているわけではありません。

表 1-4 Cisco 1900 シリーズの LED インジケータの概要

LED	色	説明	場所
SYS	グリーンに点灯	グリーンに点灯は通常の動作を示します。	前面パネル
	緑色に点滅	システムがブート中または ROM モニタ モードです。	
	オレンジ	システム エラー。	
	Off	電源がオフか、システム ボードに障害があります。	
ACT	グリーン	WAN や LAN でパケットの送受信中、またはシステム アクティビティのモニタリング中に、点灯または点滅します。	前面パネル
PoE	グリーン	Power over Ethernet (PoE) を使用できます。	前面パネル
	オレンジ	電源装置は、PoE 電力を供給していません。	

表 1-4 Cisco 1900 シリーズの LED インジケータの概要 (続き)

LED	色	説明	場所
WLAN 2.4GHz (ワイヤレス モデル)	グリーン	オン：無線は接続済み、SSID ¹ は設定済み、信号は送信され、クライアントは関連付けられていますが、データを受信していないか、送信していません。 ゆっくり点滅：無線は接続済み、SSID は設定済みであり、ビーコンを送信しています。 速い点滅：データを受信または送信しています。 オフ：無線が切断され、SSID は設定されていません。	前面パネル
WLAN 5GHz (ワイヤレス モデル)	グリーン	オン：無線は接続済み、SSID は設定済み、信号は送信され、クライアントは関連付けられていますが、データを受信していないか、送信していません。 ゆっくり点滅：無線は接続済み、SSID は設定済みであり、ビーコンを送信しています。 速い点滅：データを受信または送信しています。 オフ：無線が切断され、SSID は設定されていません。	前面パネル
WLAN	グリーン	Autonomous モード オン：ワイヤレス リンクは、アップ状態です。 点滅：イーサネット リンクはアップ状態です。データを受信または送信しています。 オフ：ワイヤレス リンクは、ダウン状態です。 Unified モード オン：イーサネット リンクはアップ状態です。ワイヤレス アクセス ポイントは、Lightweight AP Protocol (LWAPP; Lightweight AP プロトコル) コントローラと通信しています。点滅：イーサネット リンクはアップ状態です。ワイヤレス アクセス ポイントは、LWAPP コントローラと通信していません。 オフ：イーサネット リンクは、ダウン状態です。	前面パネル
ISM/WLAN	グリーン	初期化済みです。	背面パネル
	オレンジ	初期化済みですがエラーが発生しました。	
フラッシュ (1905 および 1921 のみ)	グリーン	点滅時は、ソフトウェアが内部 USB フラッシュ (eUSB ²) デバイスにアクセスしています。	背面パネル
	オレンジ	初期化済みですがエラーが発生しました。	
CF 1	グリーン	フラッシュ メモリがビジー状態です。 (注) この LED が点灯している間は、CompactFlash メモリカードを取り外さないでください。	CF1 スロットの横
	オレンジ	初期化済みですがエラーが発生しました。	
	グリーン の点滅後 に消灯	CompactFlash を取り外す準備ができました。 (注) ライトがオフになったら、CompactFlash を取り外します。	

表 1-4 Cisco 1900 シリーズの LED インジケータの概要 (続き)

LED	色	説明	場所
CF 0	グリーン	フラッシュ メモリがビジー状態です。 (注) この LED が点灯している間は、CompactFlash メモリカードを取り外さないでください。	CF0 スロットの横
	オレンジ	初期化済みですがエラーが発生しました。	
	グリーン の点滅後 に消灯	CompactFlash を取り外す準備ができました。 (注) ライトがオフになったら、CompactFlash を取り外します。	
S (スピード)	1 回の点滅 + 一時停止	GE ポートは 10 Mb/s で動作しています。	背面パネル
	2 回の点滅 + 一時停止	GE ポートは 100 Mb/s で動作しています。	
	3 回の点滅 + 一時停止	GE ポートは 1000 Mb/s で動作しています。	
L (リンク)	グリーン	GE リンクが確立されています。	背面パネル
	Off	GE リンクが確立されていません。	
EN (RJ-45 コンソールポート)	グリーン	RJ-45 コンソールポートは、アクティブです。	背面パネル (コンソールポートの横)
EN (USB シリアルコンソールポート)	グリーン	USB コンソールポートは、アクティブです。	背面パネル (USB コンソールポートの横)

1. SSID = Service Set Identifier (サービスセット ID)

2. eUSB = 組み込み型 USB

シャーシの換気

内蔵ファンは、シャーシの冷却を行います。オンボードの温度センサーは、ファンの速度を制御します。ルータに電力が供給されている間、ファンは常にオンになっています。ほとんどの条件下では、ファンは最低速度で作動し、電力を節約してファンの雑音を軽減します。周囲温度が高い場合は、必要に応じて、高速で作動します。「[シャーシ内の空気の流れを示す図](#)」(P.4-3)を参照してください。

リアルタイム クロック

バッテリー バックアップ付き内部リアルタイム クロックは、システム ソフトウェアにシステム電源投入時の時刻を提供します。これによって、システムは Certification Authority (CA; 認証局) の証明書の有効性を検証できます。Cisco 1900 シリーズルータには、リチウム電池が搭載されています。この電池は、当該ルータに指定された動作環境条件のもとではルータの寿命が終わるまで持ちます。この電池は現場交換できません。



(注)

Cisco 1900 ISR のリチウム電池が故障した場合には、ルータをシスコに返却して修理する必要があります。

バッテリーは現場交換できるように設計されていませんが、次の警告を留意してください。



警告

使用済みバッテリーは、製造元の指示に従って処分してください。ステートメント 1015

シャーシのセキュリティ

ルータのシャーシには、背面パネルに Kensington™ セキュリティ スロットが付いています。シャーシは、Kensington™ ロックダウン装置を使用してデスクトップまたは他の表面に固定できます。

ワイヤレス LAN 接続

組み込みの Wi-Fi CERTIFIED™ (802.11a/b/g/n 準拠ワイヤレス アクセス ポイント) は、ルータにオプション機能としてプリインストールされています。Cisco 1900 ルータは、Autonomous 機能と Unified 機能の両方、およびネットワーク構成をサポートします。

ワイヤレス アクセス ポイントには、接続用の外部コンソール ポートはありません。ワイヤレス装置を設定するには、コンソール ケーブルを使用して、第 3 章「Cisco 1900 シリーズ ルータのケーブル情報と仕様」に記載されるように PC をホスト ルータのコンソールに接続してから、Cisco IOS コマンドライン インターフェイス (CLI) を使用してインターフェイスにアクセスする必要があります。

表 1-5 では、ワイヤレス ルータの無線とアンテナについて説明します。

ポー リセット ボタン

Cisco 1905 および Cisco 1921 ISR の背面パネルには、ポー リセット ボタンがあります。電源がオンの場合にこのボタンを押すと、ROMMON によりルータがデフォルトのコンソール ポート構成にリセットされます。ポー リセット ボタンを 30 秒以上押し続けると、ルータはデフォルトの読み取り専用の ROMMON イメージになります。デフォルトのコンソール ポート構成は、9600 ボー、8 データ ビット、1 ストップ ビット、パリティなし、フロー制御なしに設定されます。

インターフェイス番号

Cisco 1900 シリーズ ルータの各インターフェイス (ポート) は、番号によって識別されます。Cisco 1900 シリーズ ルータには、次の Wide-Area Network (WAN; ワイドエリア ネットワーク) および Local-Area Network (LAN; ローカルエリア ネットワーク) インターフェイス タイプが含まれています。

- オンボードのギガビット イーサネット (GE) LAN インターフェイス × 2。
- WIC、VWIC (データ専用)、および HWIC を取り付け可能なスロット × 2。1905 の右のスロットには、EHWIC が工場で行き付けられた状態で出荷されます。

スロット番号の形式は、インターフェイスタイプ/スロット番号/インターフェイス番号です。表 1-6 にインターフェイス番号の概要を示します。スロット番号を識別する場合は、図 1-5 を参照してください。

表 1-6 インターフェイス番号

スロット番号	スロットタイプ	スロット番号の範囲
オンボードポート	10/100/1000 イーサネット	0/0 および 0/1
スロット 0	EHWIC/HWIC/WIC	0/0/0 ~ 0/0/0 (シングル幅)
スロット 1	EHWIC/WIC/VWIC	0/1/0 ~ 0/1/0 (シングル幅またはダブル幅)



(注) Cisco 1900 シリーズルータ上で非同期インターフェイスを設定する場合、番号形式は 0/スロット/ポートです。async インターフェイスに関連付けられている回線は、インターフェイス番号を使って async 回線を指定するだけで設定できます。たとえば、回線 0/0/0 は、スロット 0 の WIC-2A/S のインターフェイス シリアル 0/0/0 に関連付けられている回線を指定します。同様に、回線 0/1/1 は、スロット 1 の WIC-2AM のインターフェイス async 0/1/1 に関連付けられている回線を指定します。

仕様

表 1-7 に Cisco 1905 および Cisco 1921 シリーズルータの仕様を示します。表 1-8 に Cisco 1940 シリーズルータの仕様を示します。

表 1-7 Cisco 1905 および 1921 シリーズルータの仕様¹

説明	仕様
物理	
寸法 (ゴム製の脚は除外、高さ x 幅 x 奥行)	1.75 x 13.5 x 11.5 インチ (4.4 x 34.3 x 29.2 cm)、高さ 1 RU ²
ラックマウント 19 インチ (48.3 cm) EIA	オプション
重量 (モジュール未搭載時)	約 12 ポンド
PoE 搭載時の重量	12.8 ポンド
フル構成時の最大重量	14 ポンド
電源	
AC 入力電源	
• 入力電圧	100 ~ 240 VAC、オートレンジング
• 周波数	47 ~ 63 Hz
• 入力電流 (最大)	1.5 ~ 0.6 A
• 通常の電力 (モジュールなし)	25 W
• AC 使用時の電力 (最大)	60 W
• PoE 使用時の電力 (最大) (プラットフォームのみ)	70 W

表 1-7 Cisco 1905 および 1921 シリーズ ルータの仕様¹ (続き)

説明	仕様
<ul style="list-style-type: none"> PoE 電源を使用した最大 PoE デバイス電力容量 	80 W
<ul style="list-style-type: none"> サージ電流 	<50 A
ポート	
コンソール	RJ-45 × 1 および USB ミニタイプ B × 1 (USB 2.0 対応)。ボーレート: 1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、および 115200
補助ポート	RJ-45 コネクタ ボーレート: 1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、および 115200
USB ポート	1 個の USB タイプ A、USB 2.0 準拠、最高 2.5 W (500 mA)。 ³
10/100/1000 ギガビット イーサネット	2 個の RJ-45 コネクタ (GE0/GE1)、Auto-MDIX ⁴
環境	
湿度 (動作時)	10 ~ 85% RH
最高 1,800 m (5,906 フィート) の高度までの動作温度	32 ~ 104 °F (0 ~ 40 °C)
最高 3,000 m (9,843 フィート) の高度までの動作温度	0 ~ 25 °C (32 ~ 77 °F)
最高動作高度	3,000 m (10,000 フィート)
輸送および保管環境	
温度 (非動作時)	-40 ~ 158 °F (-40 ~ 70 °C)
湿度 (非動作時)	5 ~ 95% RH
高度 (非動作時)	4,570 m (15,000 フィート)
音響	
音圧 (通常/最高)	32.9/58.3 dBA
音響出力 (通常/最高)	41.9/67.2 dBA
規制	
電磁適合性 (EMC)	47 CFR、Part 15 ICES-003 クラス A EN55022 クラス A CISPR22 クラス A AS/NZS 3548 クラス A VCCI V-3 EN 300-386 EN 61000 (イミュニティ) EN 55024、CISPR 24 EN50082-1 詳細な準拠情報については、『 Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco 1900 Series Routers 』を参照してください。

表 1-7 Cisco 1905 および 1921 シリーズ ルータの仕様¹ (続き)

説明	仕様
安全性準拠	UL 60950-1 CAN/CSA C22.2 No.60950-1 EN 60950-1 AS/NZS 60950-1 IEC 60950-1 詳細な準拠情報については、『 Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco 1900 Series Routers 』を参照してください。
電気通信	TIA/EIA/IS-968 CS-03 ANSI T1.101 IEEE 802.3 RTTE Directive 詳細な準拠情報については、『 Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco 1900 Series Routers 』を参照してください。

1. 詳細については、『[Cisco 1900 Series Integrated Services Routers Data Sheet](#)』を参照してください。
2. Rack Unit (RU; ラック ユニット)
3. それぞれ 480 Mb/s。両方を使用する場合、帯域幅は共有されます。
4. Auto-MDIX = Auto Media-Dependent Interface Cross Over (自動メディア依存型インターフェイス クロス オーバー)

表 1-8 Cisco 1940 シリーズ ルータの仕様¹

説明	仕様
物理	
寸法 (ゴム製の脚は除外、高さ x 幅 x 奥行)	3.5 x 13.5 x 11.5 インチ (8.9 x 34.3 x 29.2 cm)、高さ 2 RU ²
ラック マウント 19 インチ (48.3 cm) EIA	同梱
重量 (モジュール未搭載時)	約 12 ポンド
PoE 搭載時の重量	12.8 ポンド
フル構成時の最大重量	14.0 ポンド
電源	
AC 入力電源	
• 入力電圧	100 ~ 240 VAC、オートレンジング
• 周波数	47 ~ 63 Hz
• 入力電流 (最大)	1.5 ~ 0.6 A
• 通常の電力 (モジュールなし)	35 W
• AC 使用時の電力 (最大)	110 W
• PoE 使用時の電力 (最大) (プラットフォームのみ)	110 W

表 1-8 Cisco 1940 シリーズ ルータの仕様¹ (続き)

説明	仕様
<ul style="list-style-type: none"> PoE 電源を使用した最大 PoE デバイス電力容量 	80 W
<ul style="list-style-type: none"> サージ電流 	<50 A
消費電力	110 W (最大、プラットフォームのみ)
ポート	
コンソール	RJ-45 × 1 および USB ミニ タイプ B × 1 (USB 2.0 対応)。ポートレート: 1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、および 115200
補助ポート	RJ-45 コネクタ ポートレート: 1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、および 115200
USB ポート	2 個の USB タイプ A、USB 2.0 準拠、最高 2.5 W (500 mA)。 ³
10/100/1000 ギガビット イーサネット	2 個の RJ-45 コネクタ (GE0/GE1)、Auto-MDIX ⁴
環境	
湿度 (動作時)	10 ~ 85% RH
最高 1,800 m (5,906 フィート) の高度までの動作温度	32 ~ 104 °F (0 ~ 40 °C)
最高 3,000 m (9,843 フィート) の高度までの動作温度	0 ~ 25 °C (32 ~ 77 °F)
最高動作高度	3,000 m (10,000 フィート)
輸送および保管環境	
温度 (非動作時)	-40 ~ 158 °F (-40 ~ 70 °C)
湿度 (非動作時)	5 ~ 95% RH
高度 (非動作時)	4,570 m (15,000 フィート)
音響	
音圧 (通常/最高)	26/46 dBA
音響出力 (通常/最高)	36/55 dBA
規制	
電磁適合性 (EMC)	47 CFR、Part 15 ICES-003 クラス A EN55022 クラス A CISPR22 クラス A AS/NZS 3548 クラス A VCCI V-3 CNS 13438 EN 300-386 EN 61000 (イミュニティ) EN 55024、CISPR 24 EN50082-1 詳細な準拠情報については、『 Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco 1900 Series Routers 』を参照してください。

表 1-8 Cisco 1940 シリーズ ルータの仕様¹ (続き)

説明	仕様
安全性準拠	UL 60950-1 CAN/CSA C22.2 No.60950-1 EN 60950-1 AS/NZS 60950-1 IEC 60950-1 詳細な準拠情報については、『 Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco 1900 Series Routers 』を参照してください。
電気通信	TIA/EIA/IS-968 CS-03 ANSI T1.101 ITU-T G.823、G.824 IEEE 802.3 RTTE Directive 詳細な準拠情報については、『 Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco 1900 Series Routers 』を参照してください。

1. 詳細については、『[Cisco 1900 Series Integrated Services Routers Data Sheet](#)』を参照してください。
2. Rack Unit (RU; ラック ユニット)
3. それぞれ 480 Mb/s。両方を使用する場合、帯域幅は共有されます。
4. Auto-MDIX = Auto Media-Dependent Interface Cross Over (自動メディア依存型インターフェイス クロス オーバー)

適合規格

規制については、『[Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco 1900 Series Routers](#)』を参照してください。